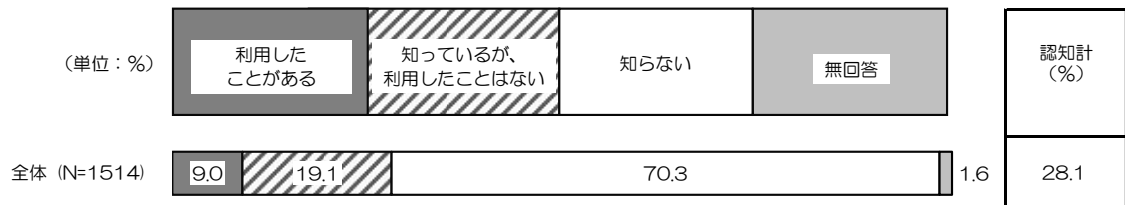


2 「救急安心センターおおさか」について

(1) 「救急安心センターおおさか」の認知と利用経験

問 1 3. 「救急安心センターおおさか」を利用したことがありますか。(○は1つだけ)

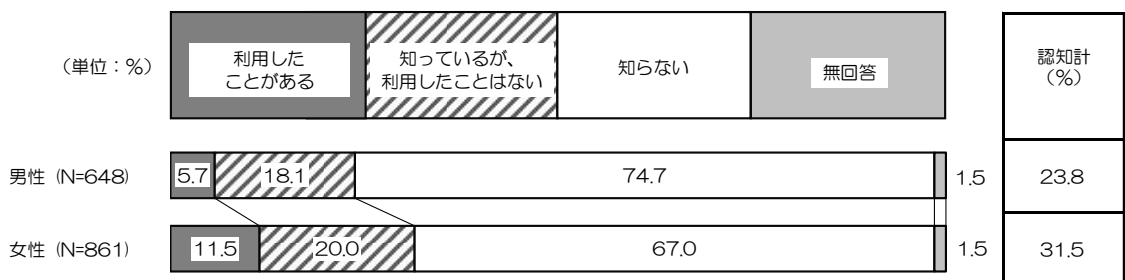
〔図表 2-1 「救急安心センターおおさか」の認知と利用経験〕



【全体の考察】

「救急安心センターおおさか」の認知と利用経験をたずねた。「知らない」が70.3%と最も高く、次いで、「知っているが、利用したことはない」が19.1%、「利用したことがある」が9.0%となっている。“認知計”（「利用したことがある」＋「知っているが、利用したことはない」）は28.1%で、3割弱が「救急安心センターおおさか」を認知している。(図表2-1)

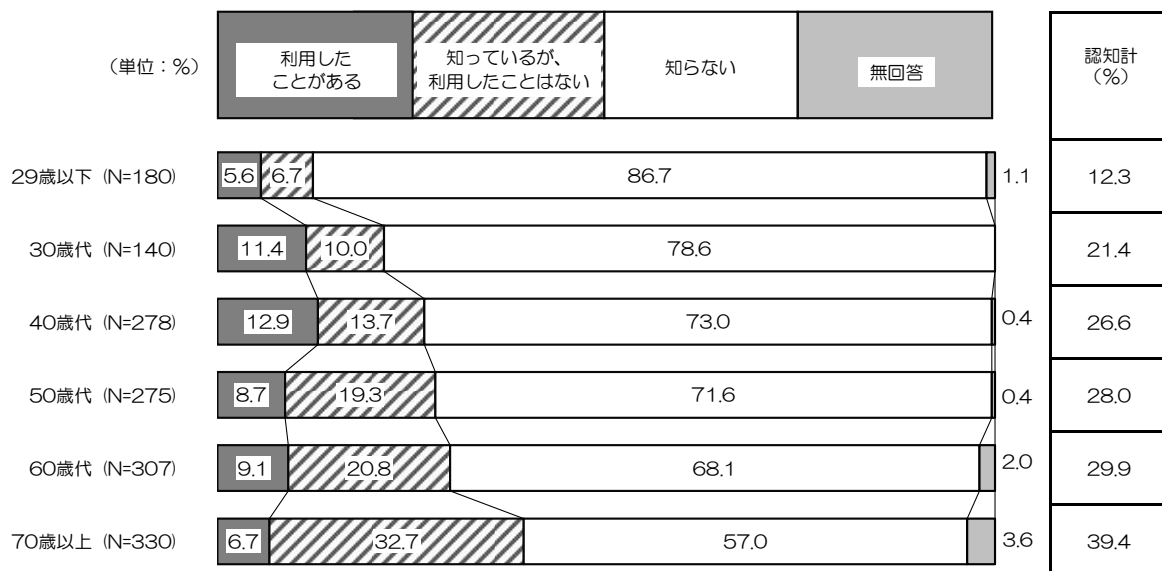
〔図表 2-1-1 「救急安心センターおおさか」の認知と利用経験（性別）〕



【性別の考察】

性別にみると、「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」とともに『女性』が『男性』を上回っており、“認知計”（「利用したことがある」＋「知っているが、利用したことはない」）は、『女性』が『男性』を7.7ポイント上回っている。(図表 2-1-1)

〔図表 2-1-2 「救急安心センターおおさか」の認知と利用経験（年代別）〕



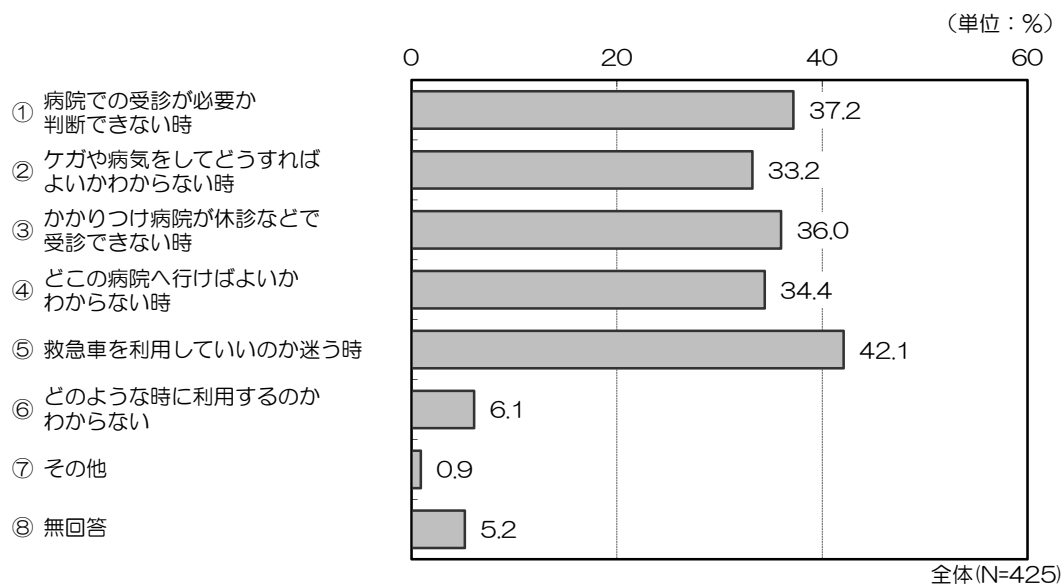
【年代別の考察】

年代別にみると、“認知計”（「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」）は、年代が上がるにつれ高くなっており、は『70 歳以上』で 39.4%と最も高く、『29 歳以下』で 12.3%と最も低くなっている。「利用したことがある」は、『30 歳代』『40 歳代』で 1 割強と高くなっている。(図表 2-1-2)

(2)「救急安心センターおおさか」の利用方法の認知

問14.【問13で「1. 利用したことがある」「2. 知っているが、利用したことはない」とお答えされた方】「救急安心センターおおさか」は、どのような時に利用するか知っていますか。(〇はいくつでも)

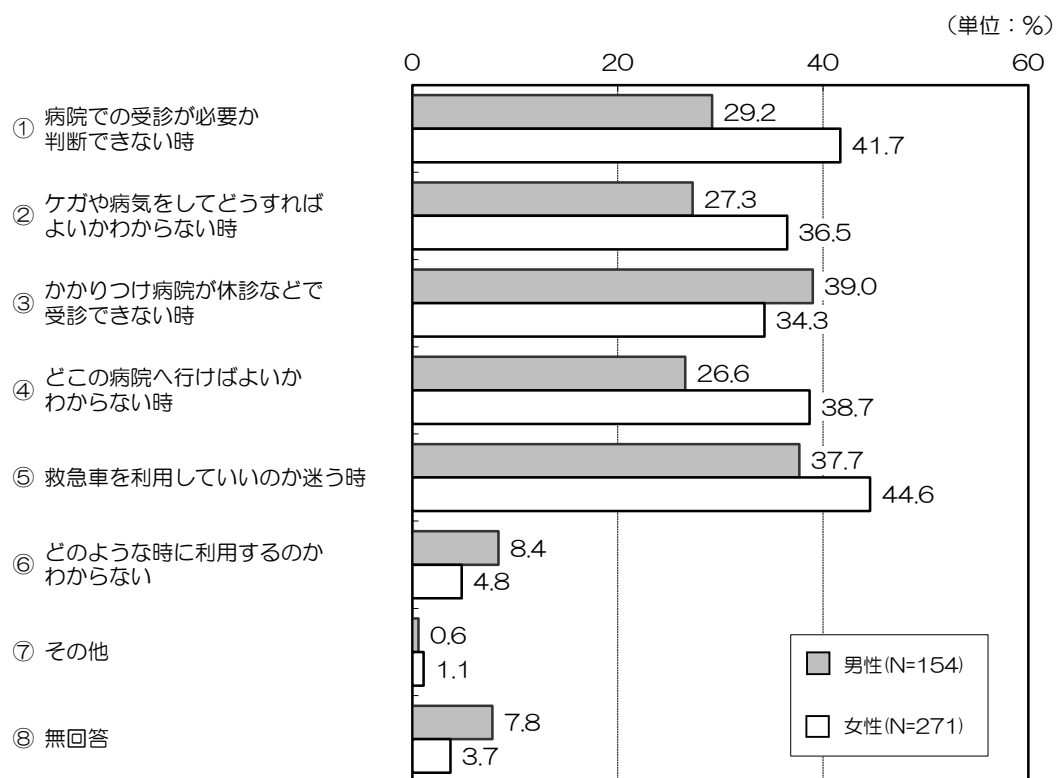
〔図表2-2 「救急安心センターおおさか」の利用方法の認知【複数回答】〕



【全体の考察】

「救急安心センターおおさか」の利用方法の認知をたずねた。「⑤救急車を利用していいのか迷う時」が42.1%で最も高く、次いで、「①病院での受診が必要か判断できない時」が37.2%、「③かかりつけ病院が休診などで受診できない時」が36.0%となっている。(図表2-2)

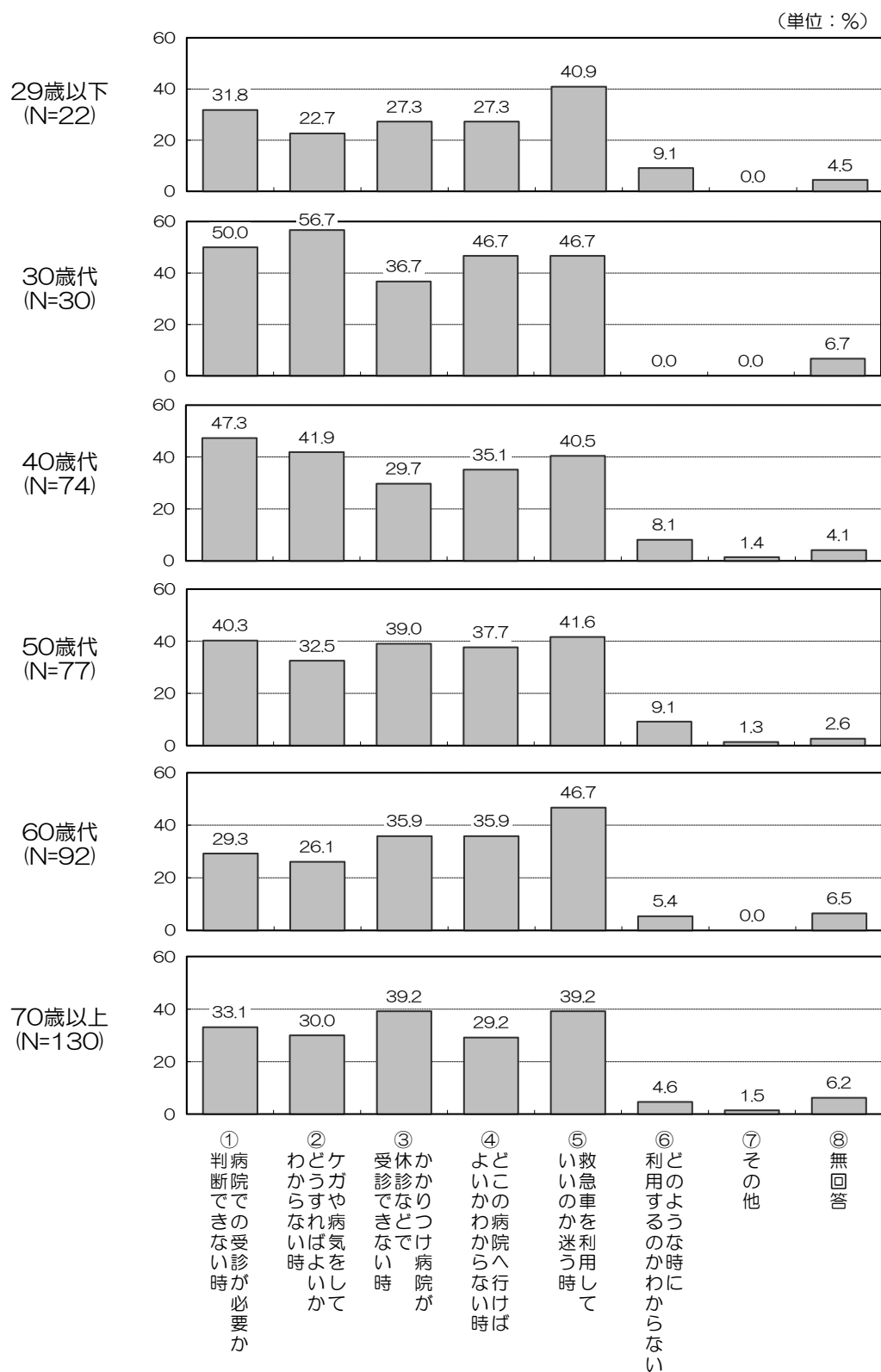
〔図表 2-2-1 「救急安心センターおおさか」の利用方法の認知【複数回答】（性別）〕



【性別の考察】

性別にみると、「①病院での受診が必要か判断できない時」「②ケガや病気をしてどうすればよいかわからない時」「④どの病院へ行けばよいかわからない時」「⑤救急車を利用していいのか迷う時」は、いずれも『女性』が『男性』を上回っている。（図表 2-2-1）

〔図表 2-2-2 「救急安心センターおおさか」の利用方法の認知【複数回答】（年代別）〕



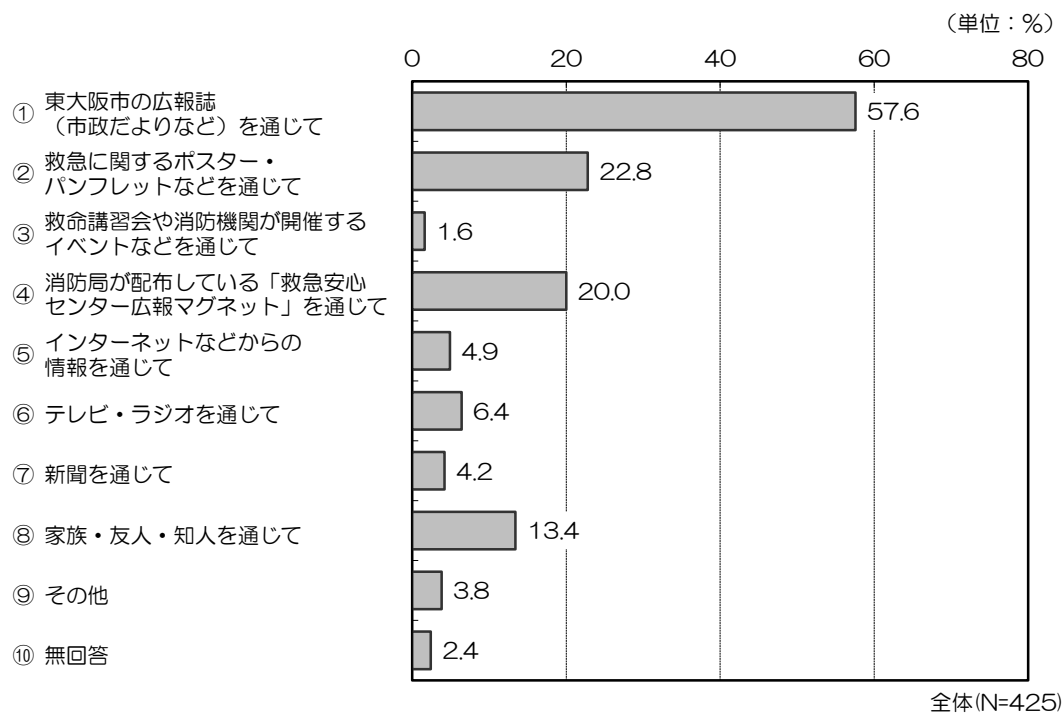
【年代別の考察】

年代別にみると、「①病院での受診が必要か判断できない時」「②ケガや病気をいしかなければいいか」「④この病院へ行けばいいかわからない時」は、いずれも『30歳代』で最も高くなっている。「⑤救急車を利用していいのか迷う時」は、『30歳代』と『60歳代』で、「③かかりつけ病院が休診などで受診できない時」は『70歳以上』で最も高くなっている。(図表 2-2-2)

(3)「救急安心センターおおさか」の認知経路

問15.【問13で「1. 利用したことがある」「2. 知っているが、利用したことはない」とお答えされた方】「救急安心センターおおさか」は、何を通じて知られましたか。
(〇はいくつでも)

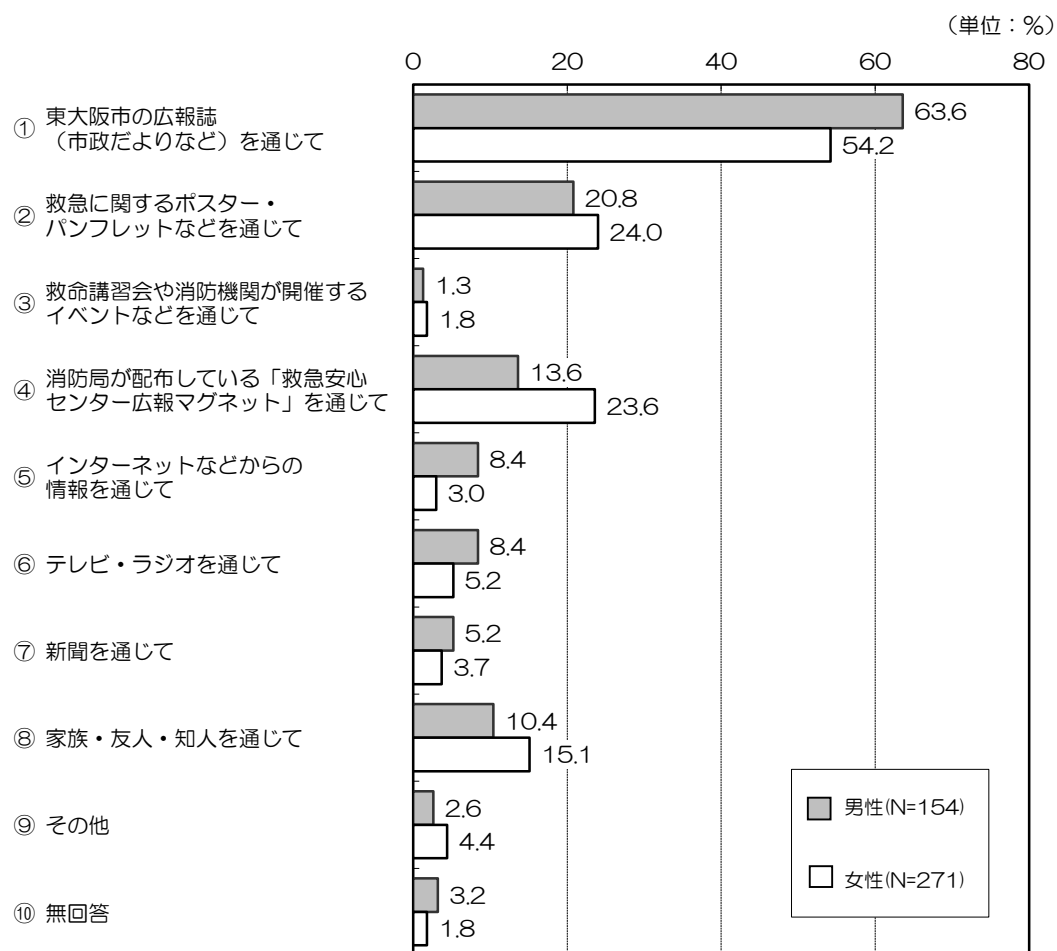
〔図表2-3 「救急安心センターおおさか」の認知経路【複数回答】〕



【全体の考察】

「救急安心センターおおさか」の認知経路をたずねた。「①東大阪市の広報誌（市政だよりなど）を通じて」が57.6%で最も高く、次いで、「②救急に関するポスター・パンフレットなどを通じて」が22.8%、「④消防局が配布している「救急安心センター広報マグネット」を通じて」が20.0%となっている。（図表2-3）

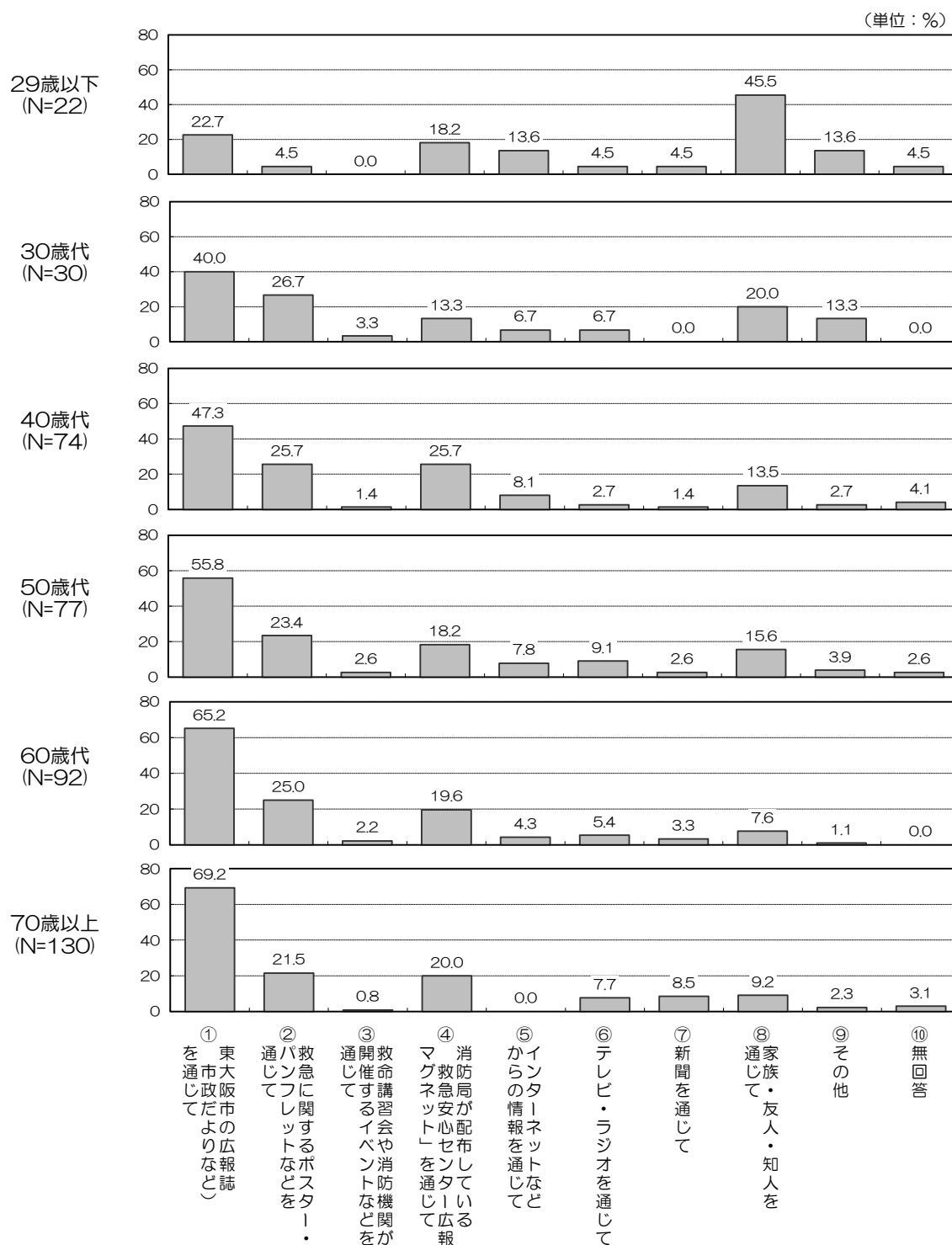
〔図表 2-3-1 「救急安心センターおおさか」の認知経路【複数回答】（性別）〕



【性別の考察】

性別にみると、「①東大阪市の広報誌（市政だよりなど）を通じて」は『男性』が『女性』を 9.4 ポイント上回っており、「④消防局配布が配布している「救急安心センター広報マグネット」を通じて」は『女性』が『男性』を 10.0 ポイント上回っている。（図表 2-3-1）

〔図表 2-3-2 「救急安心センターおおさか」の認知経路【複数回答】（年代別）〕



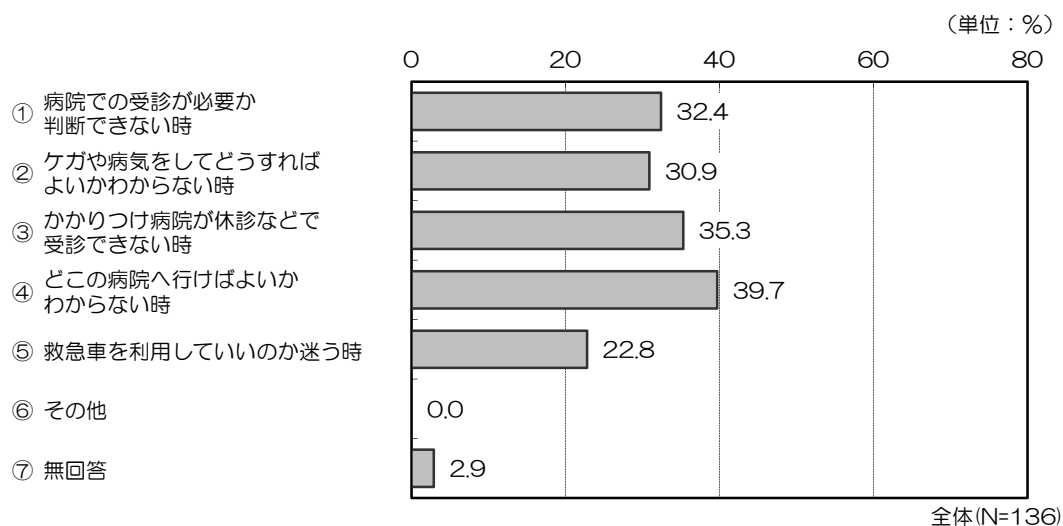
【年代別の考察】

年代別にみると、「①東大阪市の広報誌（市政だよりなど）を通じて」は、年代が上がるにつれ高くなっており、『70歳以上』で69.2%と最も高く、『29歳以下』で22.7%と最も低くなっている。『29歳以下』では、「家族・友人・知人を通して」が45.5%と最も高くなっている。（図表 2-3-2）

(4)「救急安心センターおおさか」の利用場面

問16.【問13で「1. 利用したことがある」とお答えされた方】「救急安心センターおおさか」は、どのような時に利用しましたか。(〇はいくつでも)

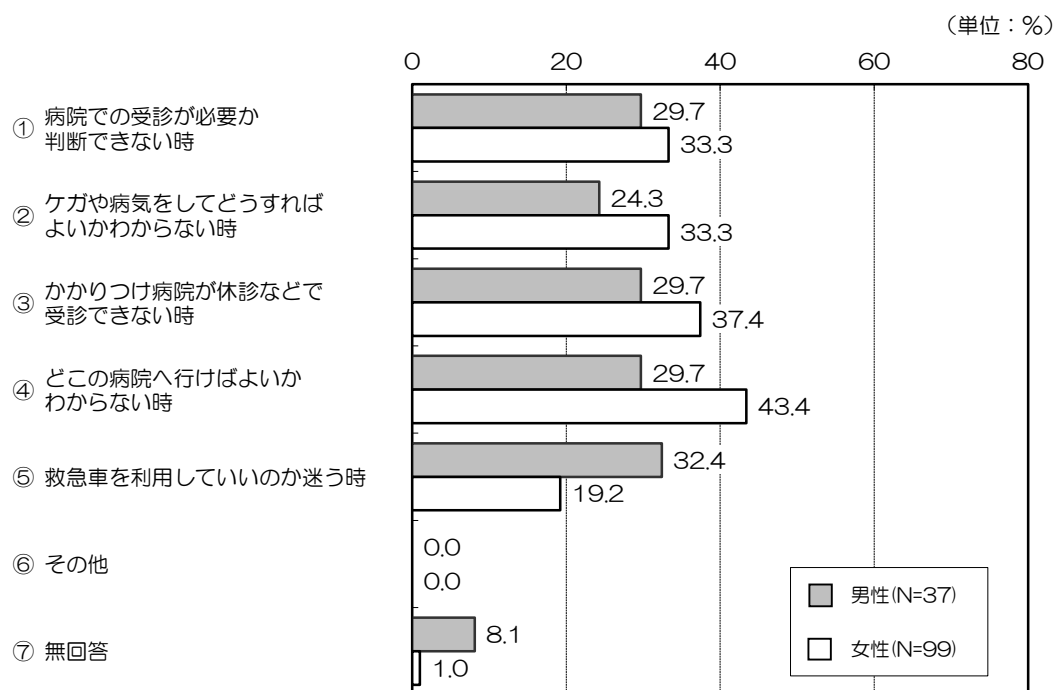
〔図表2-4 「救急安心センターおおさか」の利用場面【複数回答】〕



【全体の考察】

「救急安心センターおおさか」の利用場面をたずねた。「④どの病院へ行けばよいかわからない時」が39.7%で最も高く、次いで、「③かかりつけ病院が休診などで受診できない時」が35.3%、「①病院での受診が必要か判断できない時」が32.4%となっている。(図表2-4)

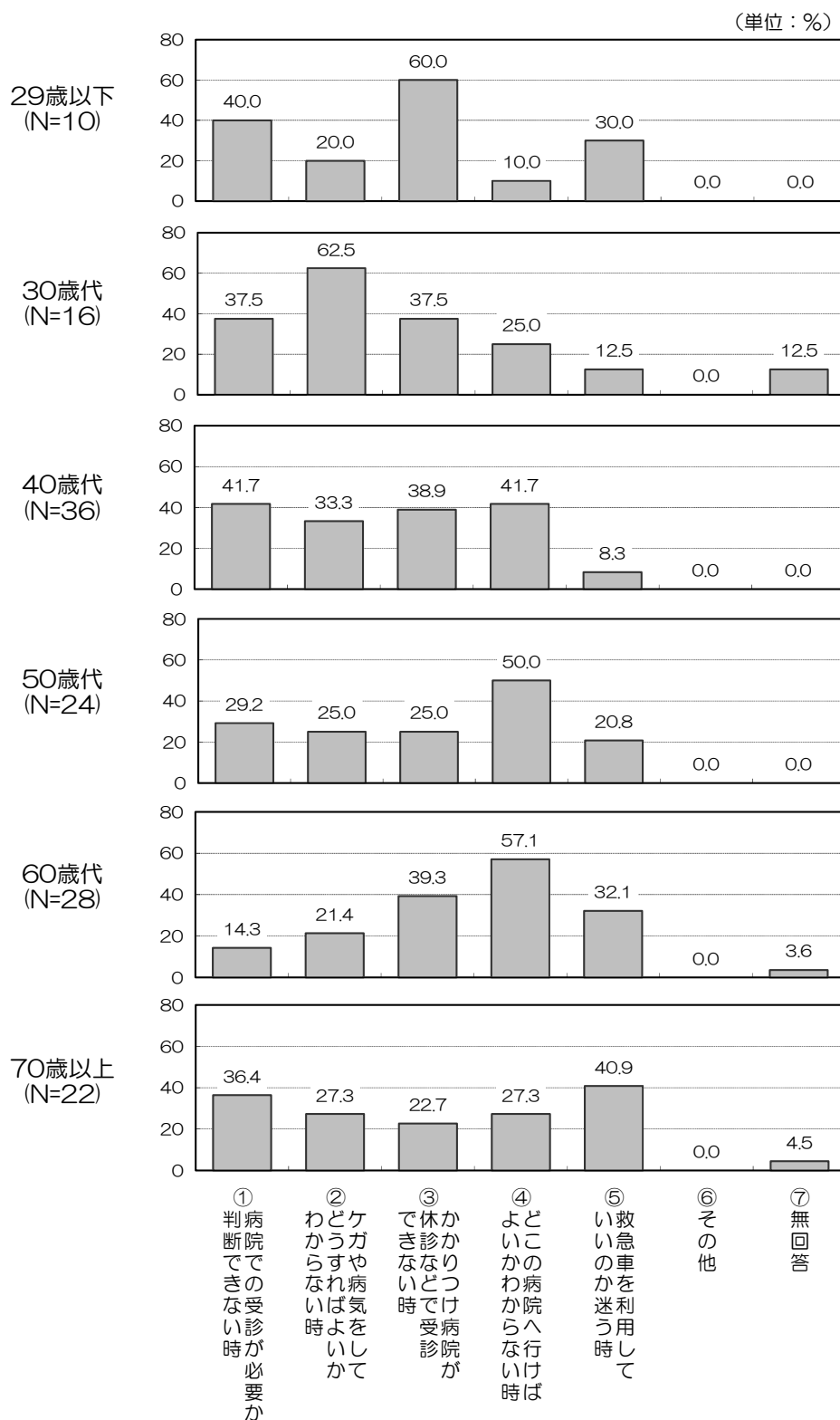
〔図表 2-4-1 「救急安心センターおおさか」の利用場面【複数回答】（性別）〕



【性別の考察】

性別にみると、「①病院での受診が必要か判断できない時」「②ケガや病気をしてどうすればよいかわからない時」「③かかりつけ病院が休診などで受診できない時」「④どの病院へ行けばよいかわからない時」は、いずれも『女性』が『男性』を上回っており、「⑤救急車を利用していいのか迷う時」は『男性』が『女性』を上回っている。(図表 2-4-1)

〔図表 2-4-2 「救急安心センターおおさか」の利用場面【複数回答】（年代別）〕



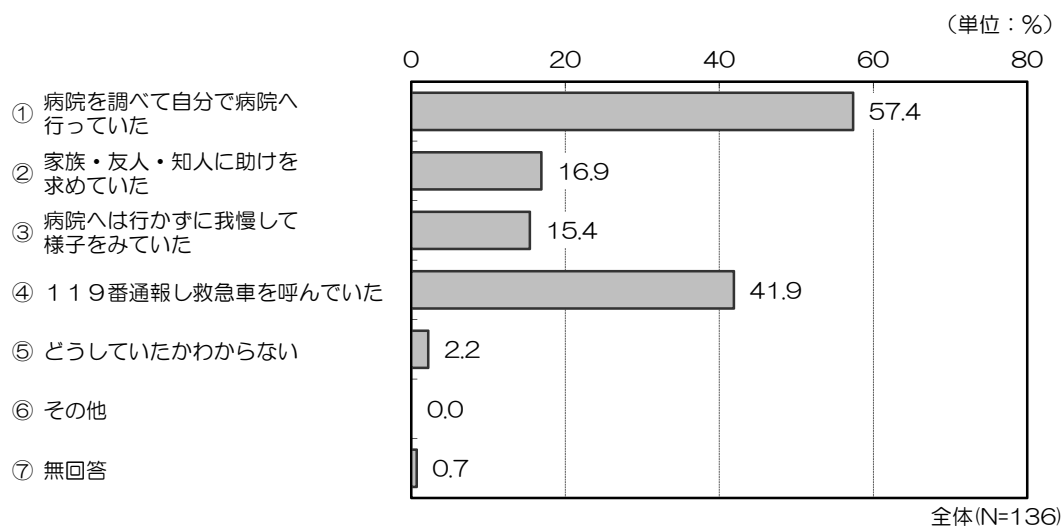
【年代別の考察】

年代別にみると、「④どこの病院へ行けばよいかわからない時」は、『50 歳代』『60 歳代』で5割台と高くなっている。「⑤救急車を利用していいのか迷う時」は、『70 歳以上』で 40.9%と最も高くなっている。(図表 2-4-2)

(5)「救急安心センターおおさか」がなかったときの対応

問17.【問13で「1. 利用したことがある」とお答えされた方】その時に「救急安心センターおおさか」がなかったら、どうしていたと思いますか。(〇はいくつでも)

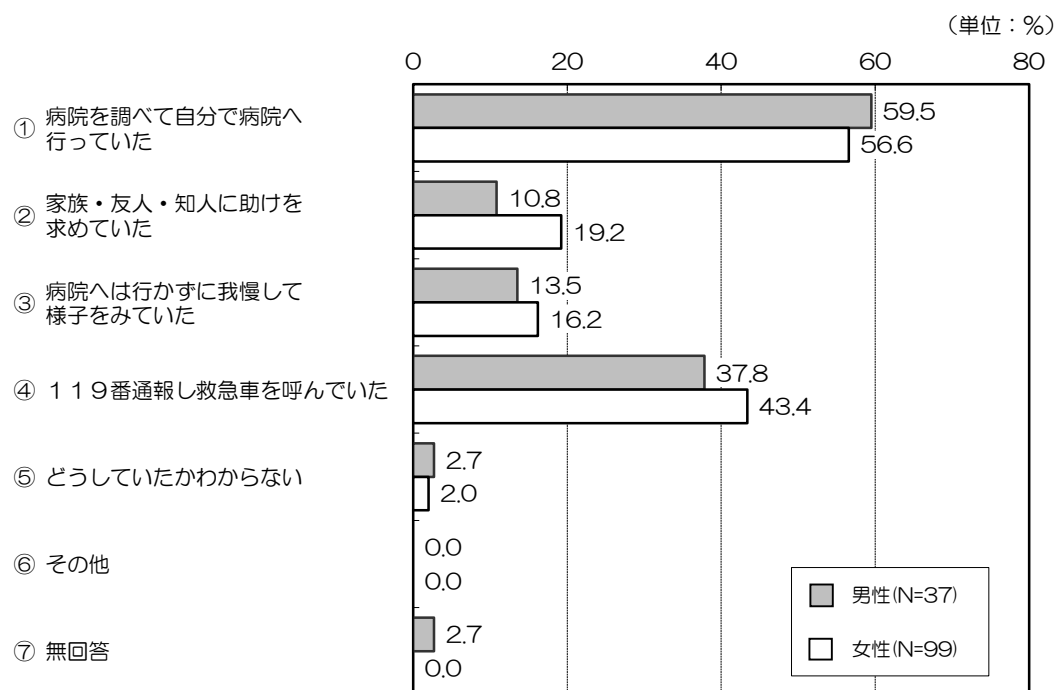
〔図表2-5 「救急安心センターおおさか」がなかったときの対応【複数回答】〕



【全体の考察】

「救急安心センターおおさか」がなかったときの対応をたずねた。「①病院を調べて自分で病院へ行っていた」が57.4%で最も高く、次いで、「④119番通報し救急車を呼んでいた」が41.9%となっている。(図表2-5)

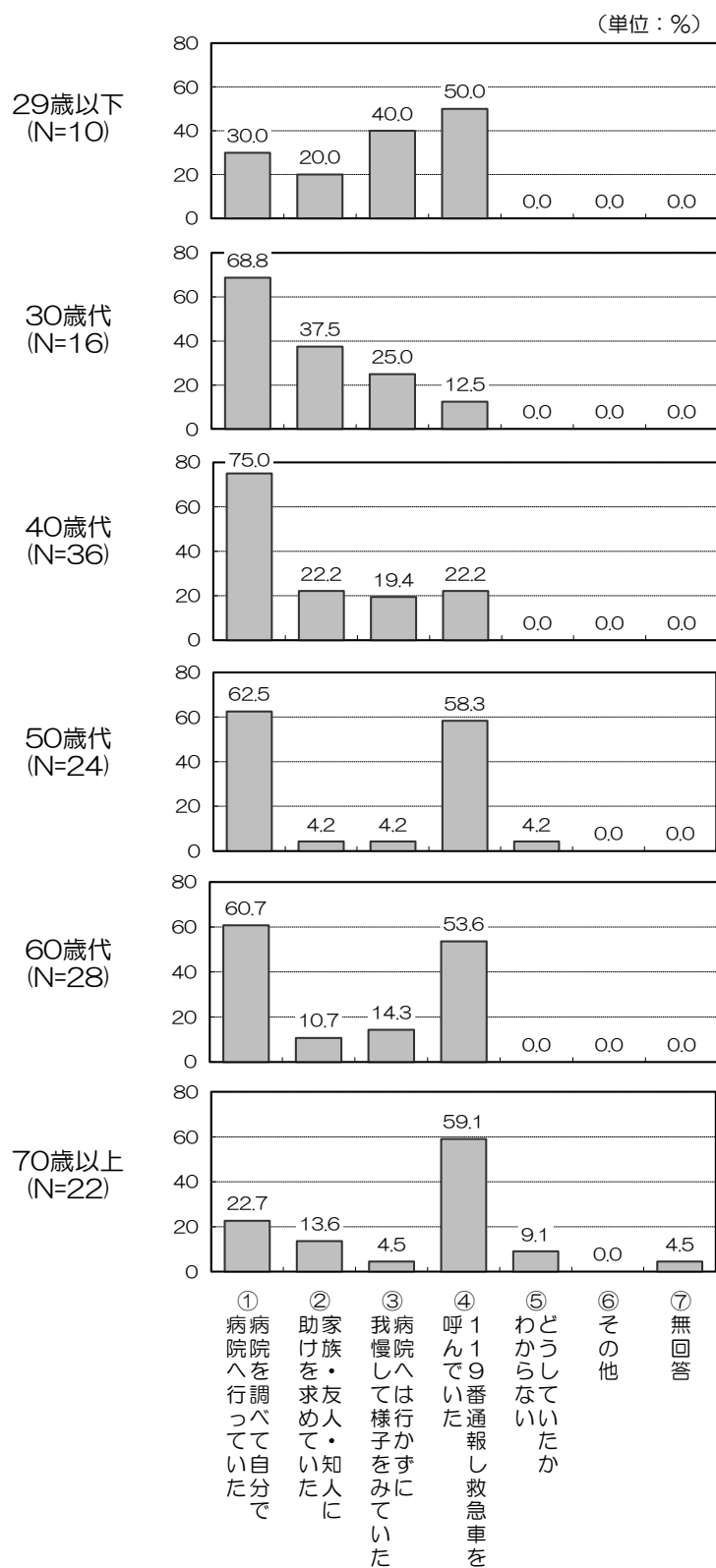
〔図表 2-5-1 「救急安心センターおおさか」がなかったときの対応【複数回答】（性別）〕



【性別の考察】

性別にみると、「①病院を調べて自分で病院へ行っていた」は『男性』が『女性』を 2.9 ポイント上回っており、「④ 119番通報し救急車を呼んでいた」は『女性』が『男性』を 5.6 ポイント上回っている。
(図表 2-5-1)

〔図表 2-5-2 「救急安心センターおおさか」がなかったときの対応【複数回答】（年代別）〕



【年代別の考察】

年代別にみると、「①病院を調べて自分で病院へ行っていた」は『40歳代』で7割半と高く、『30歳代』および『50歳代』『60歳代』でも6割台であるが、『29歳以下』では30.0%、『70歳以上』では22.7%と低くなっている。「④119番通報し救急車を呼んでいた」は、『29歳以下』および『50歳代』以上では5割台と高くなっているが、『40歳代』では2割強、『30歳代』では1割強と低くなっている。(図表 2-5-2)